

平成 20 年度
「大学病院連携型高度医療人養成推進事業」

大学名	長崎大学
設置者名	国立大学法人長崎大学
プログラムの名称 (全角 20 文字以内)	出島発、肥前の国専門医養成プログラム —地域性・国際性豊かな医療人の育成—

<プログラムの実施体制>

大学病院名	診療科名	専門分野名
長崎大学	内科	内科、消化器病、肝臓、消化器内視鏡、循環器、老年医、腎臓、透析医、呼吸器、呼吸器内視鏡、感染症、化学療法、臨床腫瘍、アレルギー、血液、神経、リウマチ、膠原病
	総合診療科	プライマリケア、家庭医療、総合診療医
	精神科	精神科
	小児科	小児科
	外科	外科、消化器外科、乳癌、呼吸器外科、心臓外科、小児外科、癌治療
	整形外科	整形外科
	脳神経外科	脳神経外科、脳神経血管内治療、脊髄外科、脳卒中
	皮膚科	皮膚科
	泌尿器科	泌尿器科
	産婦人科	産科婦人科、超音波医、臨床細胞、癌治療、産科婦人科内視鏡
	眼科	眼科
	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科
	放射線科	放射線科、画像診断 I V R、核医学、放射線治療

長崎大学	麻酔科	麻酔科、救急科
	形成外科	形成外科
佐賀大学	内科	内科、循環器、血液、感染症
	リウマチ科	リウマチ・膠原病
	神経内科	神経
	外科	移植内科、移植外科
	整形外科	整形外科
	小児科	小児科
	産婦人科	産科婦人科
	耳鼻いんこう科	耳鼻咽喉科
九州大学	総合診療科	総合診療医、プライマリケア
岡山大学	リウマチ・膠原病・アレルギー科	リウマチ・膠原病、腎臓
神戸大学	内科	内科、感染症
富山大学	産科、婦人科	産科婦人科
琉球大学	内科	感染症、呼吸器、気管支鏡
久留米大学	消化器内科、呼吸器・神経・ 膠原病内科	消化器病、膠原病
日本医科大学	高度救命救急センター	救急医療

1. プログラムの理念・概要・特色

歴史的に関連深い長崎・佐賀両県の大学病院（長崎大学病院・佐賀大学病院）は、その関連医療機関を含め、緊密に連携する。さらに全国の連携大学病院と協力し、相互の優れた点を活かした専門医育成を行い、西九州地域への専門医の定着を図る。若手医師にとって魅力ある専門医コースやキャリアパスを明確に示し、専門医資格取得の支援を行う。全ての専門医の研修状況を把握し、目標達成に向けて、関連部署の協力の下、人材の適正配置を考慮した循環を行い、地域医療の重要性を認識した質の高い専門医や臨床研究者の育成を目指す。長崎大学が従来から取り組んでいる卒前・卒後の離島・へき地医療教育や感染症教育、国際医療を組み入れることで、より地域性・国際性豊かな、また、感染症医療に長けた人材の育成が期待される。さらに、女性医師のキャリアを正確に把握し、女性医師の復職を支援し、地域医療の充実に繋げる。

2. プログラムの実施体制等

（1）プログラムの実施体制

①申請担当大学の病院の役割

長崎大学病院は、医師育成キャリア支援センター（仮称、以下「支援センター」という。）を設置し、コーディネータ等を配置する。支援センターは、コースの開発、指導医講習会への参画等を行い、参加者の卒前教育から生涯教育に至るキャリア形成を掌握し支援する中心的役割を果たす。なお、支援センター内に運営等を協議するため、病院長、正副コーディネータ、コース責任者、指導医、関連病院長、プログラム参加者代表で構成される管理運営委員会を置く。また、長崎・佐賀大学病院と連携し、本プログラム全体の管理運営を行うために、「肥前の国高度医療人養成協議会」を設置する。構成員は両大学の病院長、コーディネータ、県自治体の代表者、事務の長から成り、強力なリーダーシップを発揮する。なお、へき地病院再生支援・教育機構、感染制御教育センター、熱帯医学研究所及び女性医師麻酔科復帰支援機構も本プログラム実施に向け、積極的に参画する。

②連携する各大学病院の役割分担

佐賀大学病院は、プログラムの円滑な実施に向けて、佐賀大学病院及び関連医療機関等の専門研修体制の整備を行うために、支援センターを設置し、コーディネータを配置する。支援センターは、佐賀大学病院関連の専門医コースの開発・調整、指導医講習会への参画、関連コース全体の管理、専門研修の内容検討・調整、進行状況の把握指導を行う。また、多くの若手医師が本プログラムにエントリーするよう努める。支援センター内に運営等を協議するため、病院長、コーディネータ、コース責任者、指導医、関連病院長、プログラム参加者代表で構成される管理運営委員会を置く。

全国の連携大学病院は長崎大学のコーディネータと連携を密にし、研修を円滑に進めるよう努める。

③各大学病院・関連医療機関等の連携体制

両大学管理運営委員会は、各大学病院と関連医療機関等との連携体制の調整を行う。

コーディネータは、コース責任者が行う大学病院・関連病院・外部機関との連携・調整を支援し、コース責任者による関連病院との対等な人事交流を支援する。また、コーディネータは各大学病院間の連携・調整の中心的役割を担う。

さらに、両大学管理運営委員会の構成員の連絡体制を強化するため、当構成員間におけるネットワークメーリングリスト（dejimānet(仮称)）を構築する。将来的には両大学病院の卒前教育、初期臨床研修の担当者も協議に加わり、更なる連携が図れるような体制を模索する。

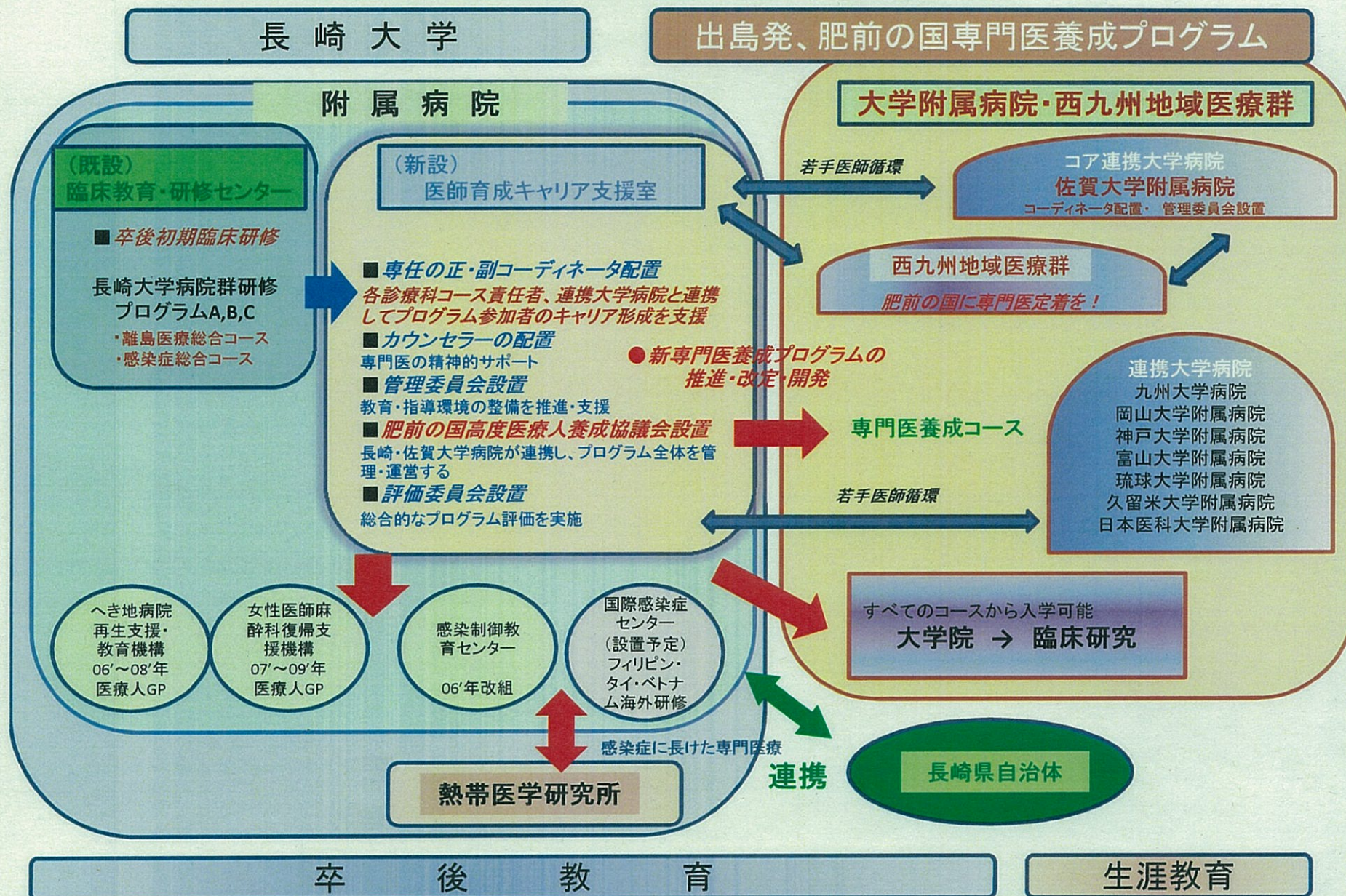
④指導体制

コース責任者が中心となり、各コースでの大学病院や関連医療機関における指導体制の構築、指導医の配置、コースの調整を行う。年 1 回はコース関連の研究会を開催する。また、プログラム参加者の関連学会入会や修練開始登録を促し、その後の到達目標達成度を定期的に把握、評価し、以降の専門医資格取得計画に役立てる。その形成的評価をコーディネータに報告する。コーディネータは全コースの形成的評価をまとめ、評価委員会に諮る。評価委員会は到達目標達成度の他、研修環境や指導体制など総合的なプログラム評価を行い、プログラム改善に役立てる。両大学病院コーディネータはコース責任者の活動を支援し、大学病院や関連病院が行う指導医講習会（FD）に参画し、指導医の資質向上に努める。支援センターは各医療機関の指導医配置状況を把握し、指導医の巡回指導体制を管理する。管理運営委員会は教育・指導環境の整備を支援・推進する。

⑤その他

支援センターでは、段階的に補完性を考慮した新たなコースの開発に努める。また、大学病院間及び関係医療機関等との人材交流を推進し、将来的には卒前教育・卒後初期研修における佐賀大学病院との連携を視野にいれ、選択可能なコースを模索する。さらには、共同で行なう臨床研究や治験、研究発表の道を模索する。大学院との連携を密にし、本プログラム参加者の大学院進学を推奨し臨床研究者の育成にも努める。なお、既存する臨床研修に関するネットワークを充実させ、本プログラムのさらなる発展を図る。また、人事情報を管理し、女性医師復帰支援にも係わる。専門医の精神的サポートのために支援センターにカウンセラーを配置する。管理運営委員会やコーディネータは本プログラム開始後、若手医師の県内定着が増加するようプログラムの調整・改良をすると共に、本プログラムの更なる発展を図る。

出島発、肥前の国専門医養成プログラムの実施体制等



(2) 到達目標

募集人員総数は182名で、長崎大学医学部卒業予定者総数を越える。コース間で定数に偏りの少ないものに設定しているが、専門研修医の進路希望は年々異なり、専門研修医の希望に沿った形で柔軟に対応する。他連携大学はさらに他大学の協力病院となっているため、プログラム参加者総数の目標を長崎大学卒業者の半数の約50名とする。資格取得を目指す専門研修医の約8割が一定期間内に専門医資格を取得することを目標とする。

(3) プログラム成果

全コースの見直し・明示や大学間連携により長崎・佐賀両大学病院の専門研修医の増加、両県内を循環する医師の増加が期待され、ひいては地域医療への貢献が期待される。離島・へき地医療を通じて総合医を目指す専門研修医が増加すればその貢献は大である。豊かな国際性を修得した医師や感染症に長けた医師の増加も当該コースへの参加者増により期待される。他大学の知識・技術を習得することで大学相互の機能強化も期待される。

(4) 評価体制

両大学のコーディネータ、コース責任者、指導者の代表、関係医療機関の代表及び外部評価者も加えた評価委員会を設置する。評価委員会は、応募状況、地理的配置状況、研究活動状況、プログラム実施体制や到達目標達成度などを評価する。結果を「肥前の国高度医療人養成協議会」に報告し、質の向上・改善に結びつける。また、コース責任者・コーディネータは専門研修医個々の達成度を評価し、専門医資格取得に向けた支援を行う。

(5) 将来の医師キャリアデザイン構想

①構想

各大学病院に支援センターを設置し、将来構想として先端医育支援センター（卒前教育）、臨床教育・研修センター（卒後研修）を包括し、卒前から生涯教育までを統括する部門を目指す。支援センターは、大学病院内、あるいは関連医療機関等において、研修中あるいは勤務中の全ての診療科の医師のキャリア管理を行い、卒前教育から生涯教育に至るまでの医師のキャリア形成システムに関わる。卒前においては、相互の大学間で講義や臨床実習における単位の互換性を持たせるよう協議していく。卒後初期研修においては、相互の大学間でのたすきがけプログラムの設置を協議していく。本プログラムを充実させ、専門医資格取得を目指しながら、大学院での臨床研究に関わる。また、地域の病院を循環することにより、地域医療の重要性を認識したキャリアデザインに配慮する。各専門コースの研究会に積極的に参加していくことにより、生涯教育に繋がる。

②検証と改善

これまでの専門医研修は主として診療科単位で行われ、臨床教育・研修センターが統括しているものの、不十分で全体を掌握し支援するまでには至っていなかった。それにより学生や研修医に対する専門医研修コースの提示も診療科毎に行われ、全体を俯瞰しているとは言えず、キャリアパスも見え難い状況であった。本プログラムによりキャリア支援センターを設置し、権限のあるコーディネータを配置することにより、全ての専門医コースやそのモデルキャリアパスを学生・研修医に明示することが可能となる。また、コース責任者とコーディネータが共同して、専門研修医の研修状況を把握することにより、専門医資格取得に向けた助言や支援が可能となる。全国の大学病院との補完性を持った専門医コースを充実させ、また、専門医取得後の生涯教育をも含めたキャリアデザイン構想を明確にすることによって、質の高い西九州地区定着医師の増加が期待される。

医師キャリア形成構想

長崎大学

出島発、肥前の国専門医養成プログラム

